

ひがしの新聞

発行

盈進学園
東野高等学校
埼玉県入間市
二本木112-1
04-2934-5292

初の「英検週間」実施

本校では全員が受検する英語検定への取り組みをさらに強化するため、検定試験（10月7日）直前の2日～6日を「英検対策週間」とする。平常授業は午前中のみとし、午後は英検対策に専念する。本校では初の取り組み。

初めて英語検定に臨む1年生もいる一方で、すでに何回も受検している生徒もいることから、各生

徒の実力にあわせて、単語強化や過去問を中心とした演習などの授業を重ねて、各自が目標とする級合格を後押しする。

2020年度から始まる大学入学共通テストの英語では民間試験が活用される

ことが決まっております。英検も採用される可能性が高い。現在の在校生はこれ以前の大学受験になるが、大学進学、就職まで考えた場合、高校段階で英語検定に積極的に取り組むことは大きな意味を持つ。

本校ではすでに英検の全員受検を行ってきたが、生徒がさらに英検を意識し、一つでも上の級合格を目標としてもらうため、英検対策週間を設け、英語科教諭だけでなく、教員全体で取り組むことにした。北村陽子校長は「一回やって終わ

坂東眞理子先生が来校



女性が高校、大学でどのよう

ベストセラー「女性の品格」の筆者で昭和女子大学理事長・総長の坂東眞理子先生が12月8日来校、講演する。本校は今年度から、女子生徒向けの教養講座を開講している。

び、キャリアを積んで社会でどう生きていくかを考えてもらうのが目的で、政府で男女共同参画計画立案の中心メンバーとして活躍した坂東先生からは学ぶべきことが多い。講演会は本校大講堂で。貴重な機会でもあり一般の方の参加も予定している。くわしくは後日、ホームページ（<http://eishin.ac/>）で掲載案内する。

最先端研究に学ぶ

早稲田大シンポに参加

「早稲田大学人間科学学術院生命科学系シンポジウム 生命科学研究者のキャリアパスと最先端研究」（早稲田大学人間総合研究センター主催）が9月16日、早稲田大学東伏見キャンパスで開かれ、本校2年1組の理系生徒20人が参加した。生命科学の最先端研究にあたる科学者がどのようなきっかけで研究者を目指す

ようになったのか、現在の研究内容や研究者として目指していることなどを高校生向けに話すプログラム。将来の選択肢を広げるきっかけになればと参加を決めた。他校の高校生も数多く参加しており、その質疑でのやりとりを聞いた本校生徒は「刺激になった」と話していた。

入間サテライトルーム 稼働



本校は西武池袋線入間市駅前のビル内に「盈進学園東野高等学校 入間サテライトルーム」を開設、2学期から本格運用を始めた。下校途中の本校在校生が自習できるスペースで、連日、多くの生徒が立ち寄り、午後9時まで机に向かっています。サテライトルーム

は入間市駅から徒歩1～2分、夜遅くまで自習をしても帰宅には便利です。本校では放課後講習もあり、また、学校に残っている自習も大歓迎ですが、帰りのスクールバスの時刻もあり、どうしても制約があります。「夜間も勉強をしたい」という生徒の声に応えました。一方で「学校のパ



ンフレットなどを手軽に入手できないか」という中学生保護者の希望も寄せられており、サテライトルームには学校案内などの資料を用意しています。